

紙マルチの効果確認試験



試験区



試験区



試験区



試験区

試験目的

紙マルチの効果確認試験

試験作物
及び品種

空芯菜

試験資材
及び数量(規格)

紙マルチ(120cm×200m) 1枚

慣行資材

雑紙

資材使用期間

5月～10月

試験区面積

240㎡

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

マルチの展張作業についてはそれほど苦にならなかった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

大きな差は無いように感じた。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：保湿性、雑草の抑制効果が高い点。
使用後マルチを鋤き込める点。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

使用時には特に強度なども気にならなかった。

(5)促成・抑制効果について

収穫が終わるまで崩壊していなかったため、地温の抑制効果はあったと思われる。

(6)保温効果について

慣行品とは変わらなかった。

(7)雑草・病害虫の発生について

慣行品よりも雑草の量は少なかった。

モニター感想

初めて紙マルチを使用したが、栽培管理の点から見て非常に良い資材だった。

空芯菜は水分を必要とする作物だが、紙マルチは保湿性に非常に優れており空芯菜に適している資材だと感じた。

また、鋤き込んだマルチの状況については、来春に継続して検証していきたい。

JA担当者の感想(営農資材課 清水 氏)

紙マルチについては、ポリマルチ、農ポリ等と比較すると重量があり、作業性が悪いと普及には至っていない。

しかし、今回の試験では栽培管理上で優位点があるという評価を頂いた。

かぼちゃやスイートコーンなどで大量にマルチの本数を使用するような使用方法では作業性の問題についてはまわるが、今回の試験のように施設園芸で少数の本数を使用するのであれば作業性はそれほど問題にならず、普及の可能性があるのではないかと感じた。

今後の使用について

継続して使用したい。

栽培管理上非常に使用しやすい資材であった。

ただ、コスト面でももう少し使用しやすい価格になるよう努力して欲しい。